



「骨寺通信」

発行：本寺地区地域づくり推進協議会

岩手県一関市巖美町字若神子241-2 骨寺村荘園交流館内
TEL&FAX 0191(33)5022

第56号



骨寺村に 秋の 気配

今年とりわけ残暑が厳しく
水不足は農作物に影響を及ぼすほどです・・・
それでも、ここ骨寺村のそこかしこでは
秋の訪れを感じさせてくれる光景に出合えます
乱れ飛ぶあかとんぼ 夜の虫の音 うろこ雲・・・
少しずつ黄金色に色づき頭を垂れる稲穂
日一日とその実を大きくさせている南部一郎かぼちゃ
間もなく、骨寺は歓喜の収穫の季節を迎えます
それはまた、彩り鮮やかな美しい季節・・・
穏やかに、人々を迎えてくれます

骨寺村荘園 稲刈り体験交流会



参加受付開始です。

5月の末に田植えをした田んぼがもう
すぐ収穫の時期を迎えます。
恒例の「稲刈り体験交流会」が、9月30
日(日)開催と決まりました。
作物を収穫する喜びを、体全体で実感し
ていただきたいとおもいます。
参加お申し込みは、電話、FAX、メー
ル等にて、若神子亭事務局で承ります。
たくさんの方の参加をお待ちして
おります。



農業体験・民泊受け入れ

骨寺大学①

8月27、30日、3泊4日の日程で、東京農大の学生10名が
骨寺村で農業体験&民泊体験を行いました。
猛烈な暑さの中、草刈、草集め、カメムシ防除、竹林の間引
き等々、様々な仕事で、汗だくになりながら、全員が懸命に作
業を行いました。最初の2泊は古曲田家で自炊をしながら、最
後は受け入れの家庭に民泊・・・慣れない環境に戸惑いながら
も、さすがは農大生、一人として音を上げることなく、むしろ
喜々として積極的に骨寺に解けこみ、最終日の報告会&送別会
では、「また来たい」という感想をいただきました。
受入れ先の各家庭にとっても、若者たちののはつらつとした働
きぶりに、新鮮な刺激を受ける数日間になったと思います。
また、骨寺に帰ってらっしゃい♪



若神子亭 納涼祭

納涼祭

ご来場いただいた
皆さん、本当にあり
がとうございました。
そして、汗だく
になりながら、イベ
ントを盛り上げて下
された会員の皆様お
つかれさまでした。
来年もまた、企画し
てまいります

お盆を間近に控えた8月12日夕刻。
若神子亭には、地域の皆さんの沢山
の笑い声が響いていました。
地域の方々に集いの場を・・・とい
う思いから骨寺村ガイドダンス運営協
議会が「納涼祭」を企画・開催。
午後4時のスタートから、イカ
ぼっぱ焼や焼き鳥などをつまみ
にビールやお酒でのどを潤すお
客さんで、用意した席はすぐに
満席に。お盆休みで帰省した
親戚も交えた、和やかな酒宴
は、日が暮れても終
わることなく、大盛
況のイベントとなり
ました。

熊に ご注意ください

全国的な傾向に違わず、ここ骨寺村でも今年はず
キノワグマが多く出没し、目撃され、田畑の作物に
被害も出ています。
市役所の広報車が注意を呼び掛けるなど、収穫の
季節を前に、地元の方皆さんも心配しているところ
です。
特に気をつけたいのは、朝夕の時間
帯。山林や畑などには、なるべく一人
では行かぬよう。人間と動物の共存。
なかなか難しい問題ですね・・・



拡張登録へ暫定リスト追加決定

先月の通信で候補入りを掲載いたしました。先日の「世界遺産条約関係省庁連絡会議」において、先の登録時に除外された、骨寺村荘園遺跡を含む5資産が、暫定リストに追加されることが決定いたしました。拡張登録に向けてまた一歩前進した形となりましたが、審査の厳格化や、更なる調査研究を進めることを必要とするなど、正式登録までの道のりは決して平坦で安易なものではありません。
地元に生活する私たちにできることは、この貴重な財産である骨寺村の景観や伝統を生活レベルの中で維持継続させていくこと、なのだと思います。活力ある「地域づくり」は、世界遺産には不可欠な要素とされています。元気な骨寺村こそが登録への本当の第一歩となるのです。